

平成27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	不用食器リサイクル事業
事業主体 (連絡先)	松本市 (環境部 環境政策課 環境政策担当)
事業区分	(5) 環境保全、景観形成に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	683,735 円 (うち支援金 : 512,000 円)

事業内容

1 概要

各家庭で不用になった食器を無料で対面により回収し、状態の良いものは、希望者に無料配布するリユースを行い、資源化するものは、岐阜県のリサイクル業者へ運搬し、新しい製品の原材料としてリサイクルするもの。

2 回収

- (1) 期 日 9月5日及び6日ほか 3回実施
- (2) 場 所 波田公民館ほか 3か所で実施
- (3) 資源化量 13,640kg
リユース量 約 1,000kg

3 配布

松本市消費生活展ほか7回実施



【不用食器対面回収の様子】

事業効果

- 1 家庭で不用になった食器を回収に出すことで、排出者の「もったいない」という意識を高めることができた。
- 2 不用な食器をリユース及びリサイクルしたことにより、循環型社会の形成を図ることができた。
- 3 回収した食器をリユース及びリサイクルしたため、埋立ごみの量を減らすことができ、最終処分場の延命化に繋がった。(約14.6トン)

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

【目標・ねらい】

- 1 循環型社会の形成
- 2 廃棄物の発生抑制・再資源化
- 3 「もったいない」意識の醸成
- 4 最終処分場の延命化

今後の取り組み

- 1 引き続き市HP、啓発用チラシ、市広報等を活用し、市民への周知を行いながら事業を継続していく。
- 2 本事業をモデルとして、市内他地区に拡大できるようにさらなる推進を図る。

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

※自己評価【B】

【理由】

降雨の影響もあり、回収量は昨年とほぼ同量であったが、広報や啓発チラシ等の影響により、一定量を継続して回収できた。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
 「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた
 「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある